

【施設状況】

グループ名称	地域活動支援センターこぶし								
指定管理者名	社会福祉法人長野県社会福祉事業団					法人番号	1100005001692		
所管課	主	102000	障害福祉課	副					
構成施設	5695	地域活動支援センターこぶし							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	作業室、事務室、トイレ								
施設設置目的	障がいのある人が地域において自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、施設において創作活動、生産活動の機会の提供を行うとともに、社会との交流の促進を図ることを目的とする。								
基本方針等	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者である障がい者、またその家族の意思及び人格を尊重して、常に利用者等の立場に立ったサービスの提供に努める。</li> <li>地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、市、障害福祉サービス事業を行う者、その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者等との連携に努めるとともに、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供していく。</li> </ul>								
主な実施事業	・地域活動支援センター事業								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない</li> <li>・管理運営の一部において、市の指導が必要</li> </ul>
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定、事業計画が全て実施されない</li> <li>・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要</li> <li>・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない</li> </ul>

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野県社会福祉事業団			当該指定管理者の 指定回数	3 回	
指定期間	令和4年4月1日	～	令和9年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成24年4月1日
指定 管理者 の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

		利用区分等	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用者数	人/年	2,186	1,833	1,778	1,514	85%	3
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) 利用定員 15人 登録人数(R5.3.31)12人 *利用者数(人/日 6.4人) *利用者数の減少の理由は、高齢化による介護施設との併用やコロナ対応による利用控え等による。									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・支援法第77条第1項第9号に規定する地域活動支援センターの実施に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務							
	自主事業	・創作活動 ・グループ活動(少人数での運動等グループワーク) ・レクリエーション活動 ・余暇活動							
サービス維持・向上の取組み(広報等)	・市包括支援センター支援専門員、歩楽里の相談支援専門員により、個々のケースについて日常的な支援方法を話し合っている(定期でなく必要に応じて機会を設けている)。 ・新規利用者確保に向け、グループ全体の広報誌に募集広告を掲載した。 ・雨天や降雪時の送迎代行(常時対応ではなく、個々の必要性を見極めた上での対応)								

3 利用者評価

		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	4
		(2) 調査、会議等の内容	・連絡帳を活用し、保護者及び施設の職員と本人とで日々の要望や意見(考え・気持ち含む)を把握に努めている。 ・満足度調査を実施したが、母数が小さい(9人)ため参考程度に留め利用者一人一人と面談して直接話を聞いている。	
利用者からの評価・苦情等	利用者からの評価	(3) 調査、会議等の結果	1.日中活動について (1)作業について:とても満足4人 まあ満足5人 どちらともいえない0人 不満0人 (2)文化的活動について:興味を持って取り組めた延べ22人 興味が持てなかった0 難しかった延べ1人 分からない(不参加)延べ4人)・・・カラオケ、アルバム作りなど数種類の活動を集計した数値(延べ人数) (3)お楽しみ会について:とても楽しかった3~4人 楽しかった1~5人 ふつう1~3人 つまらなかった0人 分からない(不参加)0~2人 2.支援について (1)支援員の対応:とても満足3人 まあ満足4人 どちらともいえない2人 不満0人 (2)支援員への質問・相談:できる3人 まあできる4人 どちらともいえない1人 できない1人 説明の仕方:とても分かり易い2人 分かり易い5人 時々分かりにくい2人 分かりにくい0人 (3)連絡帳等での発信:とても良く分かる2人 良く分かる7人 あまり分からない0人 分からない0 3.こぶしの利用について 通いたい7人 分からない2人	4
		(1) 良好とする評価	1(1)今の仕事が面白いのでずっとやりたい。 (2)カラオケが大好きなのでやってもらってよかった。・リース作りがとても面白かった。 (3)今のまま続けてほしい。・ポッチャはルールが分かたら面白くなった。 2(1)自分のことを思って支援してくれている。・自分のペースに合わせてくれる。・脚を怪我したときに送迎してもらって助かった。 (2)丁寧に話してくれるのでよく分かる。・自分に分かるように説明してくれる。 (3)利用者の様子がよく分かり情報共有ができる。・連絡帳のやり取りで意見交換や支援上の悩みを聞いてもらえることが大変ありがたかった。	
		(2) 苦情・改善等の要望事項	1本物のボウリングやカラオケに早く行きたい。 2自分の言いたいことを上手く伝えられない時がある。 3こぶしに通い続けられるのか分からない	
		《対応措置》	1コロナが第5類となれば以前のように外出できるので来年度に計画・実施する。 2利用者の様子をよく観察し、普段と違う様子が見られるときは声掛けして要望等を聞いた。話が上手く伝えられない時は言いたい内容を推測してこちらから言語化して確認した。 3今後の支援の方向性を決めるケア会議の結果、「分からない」と答えた2名の利用者がデイサービスに全面移行し、3月末でこぶしを退所した。	

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和4年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和4年度決算		令和3年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		使用料		使用料		歳入
	指定管理料	9,100,000	指定管理料	9,100,000	雑(納付金)		雑(納付金)		
支出	委託料		委託料		行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料		歳出
	販売収入等	360,000	販売収入等	376,985	貸付料		貸付料		
	その他収入		その他収入	20	その他		その他		
	計	9,460,000	計	9,477,005	計	0	計	0	
収入	人件費	7,704,000	人件費	7,417,387	指定管理料	9,100,000	指定管理料	8,885,000	3
	設備管理費		設備管理費		委託料		委託料		
支出	備品購入費		備品購入費		需用費	190,170	需用費	163,161	3
	修繕費		修繕費	26,200	役務費		役務費		
収入	光熱水費		光熱水費		使用料・賃借料		使用料・賃借料		3
	事業費	476,000	事業費	944,524	修繕費		修繕費		
支出	事務経費	684,000	事務経費	453,909	工事請負費		工事請負費		3
	本社経費	236,000	本社経費	258,000	備品購入費		備品購入費		
	その他	360,000	その他	376,985	その他	45,786	その他		
	計	9,460,000	計	9,477,005	計	9,335,956	計	9,048,161	
自主事業	収入		収入	120,254					
	支出		支出	120,254					
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		0	差引	-9,335,956		-9,048,161	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和4年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								78.3%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				職員1名増えたため(10~3月病気により1名欠勤していた欠員補充) ※正式な決算承認は6月27日の評議員会後となります。					

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価	
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	配置実績 (うち市内雇用職員数)			所長(非常勤)1人(1)、 経理担当(非常勤)1人(0)、 専門幹(1)、 指導員(常勤)2人(2)・(非常勤)1人(1) ※指導員は、男性2名・女性1名 トイレ介助等の為、現在の3名体制を維持
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか			
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか			
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか			
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか			
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか		☑
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		☑
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価	
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	3	
協定内容・指定管理者提案		追加された内容、未実施の内容及びその理由
・利用者の弁当は市内障害者就労施設(同一法人内)、おやつや事務用品等の購入物品は市内業者にて調達		(追加) 豊野中学校生徒とのボランティア交流会がコロナの警戒レベルが低かった時に重なって対面で実施した。 (未実施) 地域の各種行事への参加は、新型コロナウィルス流行により行事そのものが中止されたため、未実施。

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	3	6	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由	<p>・同一法人で複数の施設を所有していることから、他施設とも情報共有し、利用者の思いや要望を丁寧に聞き取りることができていることから、「3 利用者評価」を「4」とした。</p> <p>・コロナ禍で自粛していた施設外での活動を再開し、活動の幅を広げた取り組みを実施していることから、全体の総合評価を64点とする。</p>		
取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	新型コロナウイルス流行により活動場所を制限された期間もあり、新たな利用者を募集することは取ってなかった。	R4年度は、広報活動にも力を入れ、利用者獲得に繋がった。	
次年度の目標・取組み等(施設所管課)	<p>・利用者の高齢化が進み高齢者福祉サービスへ移行したり健康的な理由で利用停止となる人が毎年一定数出てくるため、新たな利用者の掘り起こしが引き続き課題となる。</p> <p>・ふくしネットかつどう部会の地域活動支援センター連絡会の場で、利用者増加に向けた取り組みや、各センターでの課題等の共有にあたり、多くの障害福祉サービスを実施している法人が運営する施設として、これまでと同様、積極的に意見していただくことを期待する。</p>		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

新型コロナウイルスが蔓延する中であったが提供する活動がマンネリにならないように、少人数による外出の機会を増やす、同じ法人施設を利用して外食する等、利用者の満足度を上げる工夫をした。また、体験で実施して好評だったポッチャの用具を新たに購入して、いつでも出来るようにした。結果、利用者からは概ね高評価を得ることができた。

② 業務の効率化に対する取組み

利用者支援に重点を置きつつも、事務仕事を交代でする等の工夫で時間をやりくりして業務の効率化に努めた。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

新規利用者獲得に向けて、町内の同一法人施設が合同で発行している広報誌に新規利用者募集の広告を掲載し、回覧板で全戸に配布した。また、新規の福祉サービス利用希望者に対して、相談員に当所利用を選択肢の一つとして提案してもらった。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり  
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価

C

① 評価理由

感染予防対策を徹底したにもかかわらず利用者及び職員が新型コロナウイルスに罹患したことに加え、常勤の支援員が健康上の利用により休職する事態となり、計画どおりに業務を実施できるかどうか危がまれた時期もあったが、施設内外からの応援により乗り切ることができた。活動の内容についても引き続き様々な制限を受ける中、創意工夫によって当初の計画や目標どおり実施できた。

② 次年度以降の取組み

新型コロナウイルスが第5類に分類された後も感染予防に努めながらの事業展開をしていく。特に新規利用者の獲得に一層注力する。